

製品名: プロテアソーム活性化因子サブユニット 4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe86888

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000 |
| 分子量 | Calculated MW:211 kDa; Observed MW:211 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 遺伝子名 | Proteasome Activator Subunit 4 |
| 別名 | PA200 |
| 遺伝子 ID | 23198 |
| SwissProt ID | Q14997 |
| 免疫原 | ヒトプロテアソーム活性化因子サブユニット 4 の合成ペプチド |

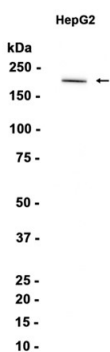
背景

プロテアソームの関連成分で、アセチル化ヒストンを特異的に認識し、精子形成および DNA 損傷応答中にコアヒストンの ATP およ

びユビキチン非依存性分解を促進します。プロモドメイン様 (BRDL) 領域を介してアセチル化ヒストンを認識して結合し、基質進入用のゲートチャンネルを開いてプロテアソームを活性化します。プロテアソーム ATPase と同じ結合部位を占める C 末端を介してコアプロテアソームに結合し、能動的なゲーティング機構を介してプロテアソームの閉じた構造を開きます。精巣に特異的に存在するプロテアソームの一種である精子プロテアソームの成分で、アセチル化ヒストンに結合してヒストンの分解を促進し、精子形成中のヒストン交換に積極的に関与します。

研究分野

画像データ



プロテアソーム活性化因子サブユニット 4 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した、HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。